



学校だより

12月
第9号

○心も体もたくましい子
◎進んで考えくふうする子
○いつも仲よく助け合う子

令和3年12月1日
小金井市立小金井第一小学校

学習発表会において、児童は日常的な学習の成果を堂々と発表できました！

校長 浅野 正道

11月18日(木)から三日間に渡り、3年に一度の学習発表会を開催しました。今年度の学習発表会から、前回まで行われていた学芸会的な演劇の発表ではなく、全ての学年・梅の実学級で、日常的な学習の成果を発表する場となりました。各教科等で、「児童が主体的に考え、話し合い、表現する授業」を継続してきたことの成果を、工夫した形態で発表していました。教科等の学習の学びの成果を、実際に行って見せたり、ICT機器等を使用して視覚的に示したり、群読したり劇化したり合唱・合奏したりするなど、発達段階による特色も十分に表して、児童が自分たちの言葉で堂々と発信できたと考えます。

代表委員会では、今回の学習発表会のスローガンを、「失敗を恐れずに、学びの成果の花を咲かせよう！」と決定し、全校児童に周知をしました。前日のリハーサルから四日間、全ての発表を見るにつれ、このスローガンに則り、全ての学年・学級の児童が、精一杯の力を発揮していることが伝わってきて、感動し続けました。児童の頑張りとともに、学習発表会に向けて、6年生が会場の準備・清掃等をしっかりと、気持ちを含めて行っていたことも素晴らしかったです。

さらに、毎日遅い時間まで、児童一人一人が、どのようにしたら自信をもって良い発表を行えるのか、十分に力を発揮して輝けるか、真剣に話し合いを重ね、熱心に指導・支援を続けてきた教職員の努力と工夫についても、この場を借りて皆様にお伝えしたいところです。まさに各学年・学級での日常的な学習の積み重ねが、大きな成果として学習発表会での発表に表れたといえるでしょう。合わせて、保護者の皆様には、児童の衣装等の用意や家庭での練習、体調の管理等に際して、大変お世話になりました。

また、学習発表会当日の受付時間帯に、多くの保護者の方が受付ボランティアとして関わって下さいました。おやじの会の方にも、安全対策等でお力をお借りしました。皆様のおかげで、無事に運営できたことを幸いに思い、ここに改めて、深く感謝を申し上げます。また、学習発表会終了後、保護者の方々から、アンケートにより、たくさんの貴重なご意見や感想をお寄せいただけました。いずれのご意見や感想も真摯に受け止め、今後の教育活動に確実に生かして参ります。ありがとうございました。

今回の学習発表会で5年生は、総合的な学習の時間において、約150年に渡る

「一小の歴史」について調べてきたことを、ICT機器等を活用して発表しました。来年度、本校は開校150周年を前に、一年間をかけて記念の行事や活動を行う予定です。1年前から教職員による周年行事委員会を設けて、記念式典や記念行事、記念誌作成、資料室整備等に係る準備や話し合いを進めています。また、10年前の開校140周年の時と同様に、開校150周年記念行事を運営する実行委員会を立ち上げ、これから様々な取組についての協議を重ね、準備を行っていきます。その際に、来年度、PTA本部役員になってくださる方を中心にして、保護者の皆様にも、児童とともに来年度の教育活動を盛り上げていくためのアイデアを出していただきたいと考えています。さらに、実行委員会に参加して、運営にも関わってくださる方がいらっしゃれば、コミュニティスクールとしての地域学校協働活動にもつながります。小金井市としても、本校が開校150周年を迎えることの期待は高く、ぜひとも、多くの方々のご協力をお願いしたいです。



さて、あと1か月で新しい年を迎えます。保護者や地域の皆様におかれましては、どうか、良い年をお迎えください。来る令和4年が皆様にとって良い年となりますように、心より祈念しております。

〈4年生社会科見学〉

11月24日(水)に羽村取水堰、羽村市郷土博物館に行きました。

「玉川兄弟・玉川上水の歴史について理解を深める」というテーマのもと、特に郷土博物館では、担当職員の方々から貴重なお話を伺うことができました。「上水井戸はこんなに大きかったんだね。」「玉川兄弟の像の本物が見られてよかった。」など、新たな気付きや発見があり、大変学びの多い1日となりました。



〈読書感想文 表彰おめでとう〉

《小金井市立小中学校読書感想文コンクール》

優秀賞

「僕は上手にしゃべれない」

4年 藤本 怜 さん

入選

「名前のない猫」 1年 西原 幸奈さん

「ビロードのうさぎ」 3年 佐久間 瑞希さん

「赤の他人だったら、どんなによかったか」

5年 横手 律哉さん

11月にはもみじの読書週間があり、楽しそうに本を読む姿が見られました。

感想文を書くためにじっくり考えて読み、主人公と自分を比べてみると、物語の世界をより深く味わうことができます。

読書記録カードも活用しながら、これからもたくさん本を読み続けていけるとよいですね。

〈学校評価ご協力のお願い〉

本校では、毎年、教育活動や学校運営等の状況について評価を行い、その結果に基づき、学校教育のさらなる改善を図ることを目的として、学校評価を実施しています。今年度のアンケートは、スクールメールのアンケート機能を活用し、回答をお願いします。12月6日(月)に配信させていただきますので、期限までにご回答ください。詳細は、別途お便りをご覧ください。

12月 学校行事予定表

日	曜	学校行事・児童活動等
1	水	MJ 安全指導 4時間授業
2	木	音楽集会
3	金	MJ B時程6時間授業 クラブ⑩ いきいきキッズチャレンジ週間終
4	土	
5	日	
6	月	TV朝会 B時程5時間授業 希望制個人面談④ スポーツ週間始
7	火	MJ B時程5時間授業 希望制個人面談⑤
8	水	MJ 4時間授業
9	木	整美集会 B時程 避難訓練 アフタースクール
10	金	MJ 6年校外学習
11	土	
12	日	
13	月	TV朝会
14	火	MJ
15	水	MJ 1～3年4時間授業 クラブ⑪
16	木	B時程6時間授業 なかよし班活動 B時程6時間授業 クラブ⑫
17	金	スポーツ週間終
18	土	
19	日	
20	月	B時程5時間授業
21	火	MJ B時程5時間授業 大掃除
22	水	4時間授業
23	木	MJ 4時間授業 給食終
24	金	終業式
25	土	
26	日	冬季休業日始
27	月	
28	火	
29	水	年末年始休業(～1月3日(月))
30	木	
31	金	
1/11	火	始業式

〈年末年始のお知らせ〉

12月29日(水)～1月3日(月)は

校内に入れません。

3学期始業式 1月11日(火)

1・2・3年・梅の実保護者会 1月17日(月)

4・5・6年保護者会 1月18日(火)



学習発表会を終えて



1年

学しゅうはっぴょうかいで、わたしはダンスをきれいにげん気におどれました。大きく、はげしくおどれました。はやくいどうをしたり、すぐフラフープをもっておどったり、じょうずにできるようにがんばりました。ダンスはたのしかったです。
(1組 林 莉乃)

学しゅうはっぴょうかいで、わたしはおんどくをやりました。おきやくさんがたくさんいて、ドキドキしていたけど、さいごまでがんばりました。みんなでちからをあわせて、本ばんはじょうずにはっぴょうできたので、とてもうれしかったです。これからも、がんばりたいです。
(2組 北原 怜)

ぼくは、学しゅうはっぴょうかいでダンスをしました。本ばんは、きんちょうしたけど、げんきにおどれてよかったです。あと、ぼくは、はじめのことばもしました。なんかいもれんしゅうして、大きなこえでできました。きょうしつで「おはようございます。」というときも、大きなこえでいいたいです。
(3組 浅田 圭)

本ばんまえに、おなじチームの子が「ダンスいっしょにがんばろうね。」といってくれてうれしかったです。その子のおかげで、むねのドクンドクンがなくなりました。きんちょうしないで、ダンスをさいごまでがんばってできました。おともだちがいたから、がんばれたとおもいます。これからもいろいろなことにちょうせんしたいです。
(4組 橋本 悠)

2年

わたしが学習発表会で頑張ったことは、2年生のみんなで仲良く協力して学習発表会を迎えられたことだと思います。「その場所に行ってみたくなったよ。」など、お家の人に言ってもらえました。みんなで協力をしたから、拍手やあんな言葉を言ってもらえたんだなあと思いました。
(1組 吉村 美輝)

わたしががんばったことは、2つあります。1つ目は、体育館の後ろの方まで聞こえる声を出すことです。大きな声だと聞き取りやすいし、演技の内容がわかりやすいからです。2つ目は、お店の人のように話すことです。お客さんも自分も演技の世界に入って楽しめるからです。帰ったら、家族みんなに「上手だったよ。」と言ってもらえました。これからも大きな声を出せるようにがんばりたいです。
(2組 宮東 夏葵)

僕は学習発表会で台詞を大きく、はっきりと言うことを頑張りました。最初は、緊張してあんまり大きく声を出せなかったけれど、だんだんと練習しているうちに上手になり、当日では大きく声を出せて嬉しかったです。
(3組 高杉 昊)

私は、一番最後に学習発表会の劇に出ました。最初はとても緊張をしていたけど、心の中で「みんなのバトン」を受け継ぐんだ。」という気持ちで演技をしたら、その気持ちが声に出たのか、緊張感がふっ飛んでいくくらい、良い声が出せました。また学習発表会をする時には、もっと本気を出して表現したいです。
(4組 中井 梨帆)

3年

一番うれしかったことは観客が笑ってくれて元気をもらえたことです。きんちょうするとやる気が出ることに気がきました。そして、「御神楽とつながっているじゃん!」と思いました。理由は、御神楽のきんちょうと、学習発表会のきんちょう、どちらも同じところからわきでているからです。
(1組 赤兎 成海)

わたしは、学習発表会を終えて、本番の時にみんな全力を出して、練習の時と違って、もっと上手になっていてよかったと思います。みんなが一生懸命に取り組んだからこそ、たくさんの拍手がもらったので、みんなで頑張って練習してよかったです。
(2組 朴 甫雅)

練習の最初の方は、たまに台詞が止まったりしたけれど、だんだんみんなの心が一つになってきて、身振り手振りもつけられるようになりました。これがまず一つの成長だと思いました。そして、本番ではどんな状況でもやりぬいたので、努力すれば最後はいい思い出になると思いました。本番は、今までで一番楽しかったです。
(3組 赤嶺 茉莉花)

梅の実

えこきやっぷのことをはっぴょうしました。「これなあに。ごみかなあ。」「どうしてあつめているの。おおきなじゅうすになるかなあ。」をがんばりました。せりふをおおきなこえでいいました。おうちのひとがみてました。よかったです。かっこよくできました。

(1組 藤澤 一悟)

ぼくは、学習発表会で、「エコキャップの旅」をやりました。ぼくは、子ども役でした。「一緒に学習しよう。」と言いました。大きな声で頑張りました。たのしかったです。

(2組 坊本 慎悟)

ぼくは、学習発表会の「エコキャップの旅」で、リサイクルはかせの役をやりました。本番では、失敗したところも少しあったけれど、最後まで頑張ってやりました。台詞をしっかりと言えました。少し緊張したけれど、しっかり台詞を言えたので、うれしかったです。

(3組 近藤 瑛人)

4年

私は、お客さんに分かるように、恥ずかしがらずに大きな声で台詞を言うことができました。最後の歌を歌った後、いろいろな人の拍手がいっぱいあって、とても嬉しかったです。これからは、どんな歌でも一つ一つ大切に歌いたいです。

(1組 入交 海心)

声を大きく、動きを大きくしてみんなに伝わるようにがんばりました。終わったときに友達が「楽しかったね。」と言ってくれて、わたしも「楽しくうまくできてよかったな。」と思いました。今度は、リーダーとしてハピフレタイムでみんなによりわかりやすく説明して、楽しく遊べるように頑張りたいです。

(2組 石動 優衣)

台詞だけでなく、大きく振りをつけて、玉川兄弟の清右衛門になりきって演技をすることができました。家の人に「玉川上水のことをよく分かった。」と言われたのが嬉しかったです。4年生一人一人が一生懸命演技できたのもよかったと思います。これからもみんなで力を合わせて、学習も行事も頑張りたいです。

(3組 渡邊 泰地)

5年

歴史を調べていく中で、自分も一小の歴史に関わっていることを知り、そして、先輩方の思いを繋げていこうと思いました。頑張って練習するほど声が大きくなって、自信もついて、努力はいいなと思いました。失敗しても気にしないで、次に生かして行って成長していきたいです。あいさつも大きくして、この学校を明るくし、未来にも繋げていきたいです。

(1組 高野 進吾)

ぼくは、一小の歴史について調べ、支え合う大切さについて考えました。昔は今では考えられない学校生活を送っていましたが、地域の人たちの支えがあって子供が成長していき、年代が変わるにつれて、支えられていた人が支える人になり、今の一小に繋がっていると感じました。ぼくもこれからは、支えられてばかりではなく、支える人になっていきたいです。

(2組 門屋 真生)

今までの中で、一番大きい声を出せて、よくできたと思う。今回、一小の歴史を調べて分かった、昔の人の一小への思いを忘れずに、最高学年の6年生になって、下級生を引っ張れるようになりたい。また、校歌を歌うときには、歌詞の意味を思い出して、心を込めて歌うようにしたい。

(3組 東山 雪花)

6年

自分が成長したと思ったのが、大勢の前で話すことや戦争についての自分の考えをもったことです。総合的な学習の時間で発表したときよりも、原爆が落ちた地域、被害について、詳しく知ることができたし、戦争の悲惨さ、平和の尊さを改めて感じました。考えたから終わりではなく、そこから自分や周りの人にどのような影響を与えるのか、どのように広めて、教えていくかが大切だと感じました。

(1組 齊藤 菜穂)

戦争や原爆のことについて知ったことを、多くの人に伝えていくことは大切だと思いました。今回は学習発表会という行事でしたが、自分がこれからも、積極的に人に伝えることをしていきたいと思っています。これからは、日本のことだけでなく、世界のことについて知り、本当の幸せというものを考えて生きていきたいです。

(2組 竹内 支優)

これまでの平和学習を通して自分の意志や考え方も変わった。一つめは、これからどう生きていきたいかについてだ。たくさんの人に広める活動や、悲しい思いをしたそれぞれの気持ちに寄り添うことをし、命や動物までもすぐえる仕事に就きたいと思った。二つめは、自分がどれだけ戦争のことについて安易に考えていたかだ。これを機に、もう少し考えることが増え、記憶が薄れないように未来へと傳承したいと思う。

(3組 南 咲希)